

PACHINKO・PACHISLOT・AMUSEMENT

経営者の必読誌

Amusement Japan

月刊 アミューズメントジャパン

NOVEMBER 2015 Vol.18 No.206

豊丸産業

福祉利用向け 「トレパチ！」開発

パチンコと福祉の接点づくりを



「トレパチ!」には福祉業界の関係者も大きな関心を示している

豊丸 丸産業では高齢者が希望を持って前向きに生きていける社会づくりに貢献することをビジョンに掲げ、2014年に「未来事業室」を立ち上げた。その一環として今年、福祉利用向け専用パチンコ「トレパチ!」を開発した。

「トレパチ!」は近年、認知症予防の効果認められつつあるパチンコに、楽しく遊べるトレーニング要素を付加したものだ。

「パチンコの機械だけをつくっているのはもったいない。パチンコの開発技術で社会貢献ができないか、と考へてきたのが福祉の分野でした」と永野光裕社長は開発の経緯を説明する。

脳科学
や作業療法
の専門家の
意見を参
考に商品化
した「トレ
パチ!」は、
既存のパチ
ンコとは異
なる。液晶
ではなくド
ラムを使用
した、シン
ブルでわか
りやすいゲ
ーム性。ト
レーニング

機能を重視し、リーチがかかるとブツシュボタンを使い、中央のドラムを目押しで止めて大当たりを目指す機能を搭載した。認知症患者が玉を飲み込んでしまふ可能性を考え、玉が表に出ない循環式に変更。パチンコ特有の玉がガラスにカチャカチャ当たる音問題は、特殊コーティングした専用球を使うことで解消した。

このほか、左手しか使えない人や手を伸ばすことができない身体の不自由な人向けに、通常ハンドルとは別にマルチハンドルを考案。身体が不自由な人でも遊ぶことができる。他にも認知症予防効果を狙ったBGM機能など、脳に良い刺激を与える工夫がなされている。

「トレパチ!」はデイサービスセンターなどの介護施設向けにレンタルサービスを提供していく予定。利用料金は1台につき月額2万円程度。レンタルでサービスを展開していくことについて「施設側で有効に活用できるかは入ってみないとわからない。ダメならいつでも返せるよう、施設側に配慮した」という。

移動展示車も用意し、デモを希望する施設への出張なども行う。すでに今年2月から福岡県内の10施設で導入。大当たり時は玉ではなくカードを獲得できる仕組みをとっている。

5月に参加した国際福祉健康産業展「ウェルフェア2015」では、想像



永野社長

以上の反響が得られた。パチンコを知らない人までもブリスに足を運ぶなど、福祉関係者の「トレパチ!」に対する印象は上々。施設に導入した場合、「職員が高齢者や身体障がい者に付きつきりになる必要がなく1人で遊べる」と施設運営の面でも好評価を得た。

永野社長は今後の展開についてこう語る。

「パチンコホールはこれから、行き場のない高齢者の憩いの場になれる可能性があると思う。だが現状、業界側でそこに合わせた施策ができていない。受け皿になれるような環境整備を考えたい。そのためにもパチンコの敷居を低くして、誰でも手軽に遊べるようにしていく必要があると思っっています。福祉の分野で貢献するためにも、また次の製品を考えていきたい」

新基準後の集客アイテム

業績アップする設備機器・サービス



「健康」に活用されるパチンコ

介護予防、リハビリにも効果



TOKYO GAME SHOW 2015

注目はVRとゲーム実況



古き良き「大衆娯楽」をもう一度

手打ちパチンコ、40年ぶりに復活

HALL DESIGN

- APULO1111
- ウイング 桑名店
- マルハン 太田新道町店
- ザシティ ベルシティ 篠崎店
- ダイエー 町北町店
- トップワン 敦賀店

